

6月議会が始まる  
5日、朝9時開会

# 住みやすく、人口の増える町を

5月30日、6月議会の開催に当たって議会運営委員会が開かれ、議事日程等(別掲)が確認されました。一般質問は阪東、山田、野瀬、西川、丸山光雄、西澤、金澤の各議員の順。5日、6日に別けて行われます。

丸山光雄議員、西澤議員の一般質問通告を紹介します。

## 丸山光雄議員

、安全・安心のまちづくりのために  
尼子地先の近江鉄道沿いの町道を舗装してほしいとの要望が出されていると聞かすが、実現すべきでは。

、町職員は「全体の奉仕者」として職務を実行することについて

1、役場全体の印象を左右する町職員

## 甲良民報

2014年6月1日 622号  
発行責任：日本共産党甲良町議員団  
連絡：甲良町在土463(西澤)  
Tel.Fax38-4949

のあいさつをさわやかに。

2、税金の取り立てをめぐっても弱い町民の立場に寄りそって、親切・ていねいに。

3、町全体が「全体の奉仕者」の精神をいかせるような町政方針の確立を。

## 西澤議員

、住みやすく人口が増える甲良町をめざして

1、今年5月14日付け「中日新聞」滋賀版で報道した「3町消滅?! 人口減に苦慮」に関連し、人口減の主たる要因をどのように分析しているか。

2、「人口減少」について住民アンケートと町外転出者の意向調査をお願いしてはどうか。

3、若者定住施策の充実が必要では。住居に対する軽減策(固定資産税の軽減、家賃補助など) 保育料・税等の軽減策 医療費無料化の拡充策

4、町政の中心点を充実させるために

は「具体策は何が重点か」を定めることが重要では。

例えば、甲良町に合った再生可能エネルギーの導入で財政確保と町のイメージアップにも。(高知・梶原町、四万十町、岩手・葛巻町の例)  
5、「地域おこし協力隊」の位置づけ・活用は現時点でどのような計画か。今後の課題は。

6、住みやすいまちにしていくためには、住民が対等平等で住民自治が花開き、根づくことが大切。本音で話し合える場が必要では(例えば 委員会のような)。

、「防災センター」建設は充分なる住民合意を

1、平成25年度予算で「町公民館駐車場整備事業」(44,166千円)としてあげられた事業に「防災センター建

設」が上乘せられた感じ。正面から「防災センターの必要性」「具体的計画」

「全体像・予算規模」が町民に説明されていない。説明が必要なのは。

2、26年度予算に同建設の「設計業務委託事業」(2600万円)が計上されたが、いったん進行を止めるべきだと

## 6月議会日程は以下の通り

- 4日(水) 全員協議会
- 5日(木) 開会、議案提案他、一般質問
- 6日(金) 本会議 一般質問(丸山光雄議員、西澤議員が登壇します)
- 10日(火) 盗水疑惑特別委員会(要傍聴許可)
- 13日(金) 閉会、提案説明、採決など

どなたも傍聴できます

考えるが。

、同対事業宅造地の沈下について

同対事業における造成宅地の一角が沈下している原因の究明と誠意ある対応を。

みなさんのお声・願いをお待ちしています。

日本共産党甲良町支部の見解を紹介します。メール [siga-koura463@jcp-nobuaki.com](mailto:siga-koura463@jcp-nobuaki.com)

くらし・医療・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38 4949 丸山光雄 38 3123

ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】

# 紫雲苑 改築 部分改修で充分対応できる

5月30日、彦根愛知犬上広域行政組合議会が開かれ、紫雲苑(多賀町敏満寺・火葬場)の改築工事の請負契約議案は、日本共産党議員以外が賛成し可決。今村恵美子議員が党議員を代表して以下の反対討論を行いました。

まず、紫雲苑は、当初、経年劣化のある火葬炉施設の改修を中心に施設の部分改修計画を進めていましたが、当組合の計画変更で今回の大型改築工事になってきました。しかし、紫雲苑の施設状況を見れば、部分改修で十分対応できる建物です。

## 住民負担の増大を招く

日本共産党は、これまで住民負担

を最小限度に抑え、現行施設の改修と長寿命化が管内に住む住民サービス向上と後年度負担の軽減につながると進言してきました。

そういう中での、今回の紫雲苑大型公共工事については、税金のムダ遣いと住民負担の増大を招くもので反対です。

## 入札6社の内1社辞退、2社は同族会社

次に、議案4号は、紫雲苑改築工事の条件付き一般競争入札による契約議決議案ですが、入札結果表から見ると、4社が応札し伊藤組が落札しています。落札率は、90、86%でした。この応札業者の中で落札した伊藤組の代表取締役は奥田秀氏であり、また次点になった奥田工務店の取締役会長も奥田秀氏で、この2社は同族会社です。入札の公平性・競争性から見て非常に問題があり

ます。

## 「公正な競争」だったか？

彦根市の総務部契約管理室で聞いたところ、今回の条件付き一般競争入札のAランク特定業者は10社とのことでしたが、公正な競争を求めるのであれば、少なくとも20社以上を対象を拡大するのが本来の自由競争が保障され、公共工事の経費節約と談合防止にもつながるものです。

一般競争入札と形は作っていても、対象枠を狭くすれば同じ業者間の入札が繰り返され、談合を助長することにつながります。

今回の入札方法は、彦根市に準ずると説明がありましたが、当組合は集合入札を実施しました。彦根市の担当者は、条件付き一般競争入札は、原則郵便入札で実施していると言っていました。なぜ、当組合は、業者が顔を合わせて談合しやすい集合入札を実施したのか疑念が出ます。

落札率90.86%

平成25年分の平均は約74%

そして、今回の落札率は90、86%と高止まりしています。最低制限価格は設定したと説明がありましたが、私が情報公開請求をした、平成25年分の入札結果表の最低制限価格は、予定価格に対し平均で約74%でした。今回の入札で、昨年の平均最低制限価格率で計算すると、税抜きで約4億7、000万円になり、伊藤組の落札金額と比較すると約1億円強の差があります。最近資材の高騰など言われますが、当組合が、公共工事の経費節約と住民負担軽減のために入札改善をしたとはとても言えません。

税金を使って行う公共工事入札は、透明性・公平性・競争性を高める行政の主体的な入札改革がなければ政・官・業の癒着による官製談合が横行し、関係住民は大きな損害を被ります。

よって以上の理由で、議案4号が住民の負託には応えられないと判断し反対とします。

## 紫雲苑改築工事の契約結果

種別	契約額	落札業者
建築工事	6億25,104千円	(株)伊藤組
電気設備工事	1億29,600千円	(株)ノセヨ
機械設備工事	1億31,220千円	一圓テクノス(株)
火葬炉設備工事	2億26,908千円	(株)宮本工業所
合計	11億12,832千円	